広報くき 2013（平成25年）4 No.73

本多静六記念館がオープンします

本多静六博士没60年記念事業で整備した本多静六記念館がオープンします。記念館には、本多家から寄贈された博士の直筆の資料や遺品などの貴重な資料をはじめ、公園の模型や写真、博士が手掛けた全国各地の公園や観光地のポスターを展示します。

皆さん、ぜひ記念館にお越しください。（入館無料）

日時　４月21日㈰　13時オープン

場所　菖蒲総合支所５階

※４月22日㈪以降、記念館の開館時間は、９時～17時となります。（土曜日・祝日　休館）

問合せ　企画政策課企画政策係（内線2282）

展示室の完成イメージ

連載　久喜歴史だより（第18回）

銅製阿弥陀如来立像

現在、郷土資料館常設展示室に、市指定有形文化財銅製阿弥陀如来立像の複製が展示されています。

この仏像は、久喜市上川崎の正蓮寺の本尊仏として今日に伝わったもので、正蓮寺は古河公方家臣で幸手城（幸手市）主の一色直朝が開基した寺院と伝えられています。

仏像の高さは約22cm。両手首より先を除いた身体全体を銅で一体に鋳造したもので、それらとは別個に鋳造された両手部分が、ロウで接着されています。

また、仏像の背面には、製作年や願主の名が刻まれており、その銘文によれば、もとは元亀３年（１５７２）10月に武蔵国長井庄目沼郷（熊谷市妻沼）の坂木神左衛門という人物が、念仏本尊として造立したことが記されています。坂木神左衛門は目沼郷の有力な住人とみられ、個人的な礼拝仏としてこの仏像は製作されたようです。その後の経緯は不明ですが、正蓮寺に伝わり、本尊仏となりました。

阿弥陀如来は、平安時代の浄土信仰から、阿弥陀如来の功徳によって極楽浄土に往生できると説かれ、広く信仰されるようになりました。阿弥陀仏への信仰の進展に伴って、仏像も盛んに作られるようになりました。

さて、この仏像が鋳造された当時は、戦国時代の真っただ中にあり、相模国（神奈川県）の北条氏康・氏政、甲斐国（山梨県）の武田信玄、越後国（新潟県）の上杉謙信ら戦国大名が激しい抗争を繰り広げていました。元亀２年（１５７１）には、武田信玄が北条氏領国へ侵攻し、久喜周辺にも行軍しています。また、元亀３年（１５７２）から翌年にかけては、北条氏政が上杉側の羽生城（羽生市）、関宿城（千葉県野田市）等の拠点を攻撃し、救援のため出兵した上杉謙信と対峙しました。目沼郷や久喜市周辺地域は、これらの戦国大名が入り乱れて争う最前線だったのです。

戦火の絶えない不隠な時代を背景に、坂木神左衛門は阿弥陀如来へ願いを込め、この仏像を作ったものと思われます。

銅製阿弥陀如来立像
（左：正面、右：背面）

問合せ　文化財保護課文化財・歴史資料係（内線４３２３）

久喜市の人口

３月１日現在
（　）内は前月比

人　口	155,854人	（－144）
男	77,970人	（－53）
女	77,884人	（－91）
世帯数	61,583世帯	（－3）

■久喜市役所（本庁舎）
〒346-8501　下早見85-3　☎ 0480－22－1111（代表）／FAX 0480－22－3319
■菖蒲総合支所
〒346-0192　菖蒲町新堀38　☎ 0480－85－1111（代表）／FAX 0480－85－1806
■栗橋総合支所
〒349-1192　間鎌251-1　☎ 0480－53－1111（代表）／FAX 0480－52－6027
■鷲宮総合支所
〒340-0295　鷲宮6丁目1-1　☎ 0480－58－1111（代表）／FAX 0480－58－2020

■発行日　平成25年４月１日（毎月１日・15日発行）／■発行　久喜市　■編集　広報広聴課／〒346-8501 埼玉県久喜市下早見85-3
TEL 0480-22-1111（内線5912・5914）
FAX 0480-22-1118／E-mail koho@city.kuki.lg.jp
VEGETABLE OIL INK　R100
この広報紙は60,200部作成し、１部当たり18円（うち広告料収入を除いた市負担は１部16円）です。